

しん しょ 新書のきほん 2021 年度版

発行者：福島県立原町高校図書館 | 発行日：2022-03-15

新書は学びの
玄関ホール！

あなたがすてきな新書と出会えますように！

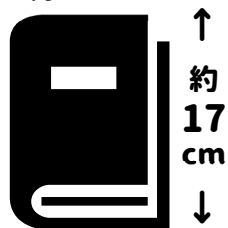


高校生になると、夏休みなどの長期休業期間や、進路に関わる学習の場面などで、「新書を読もう！」と言われる機会が出てきます。ですが、新書とはどんな本で、なぜ新書を読まされるのか、といったことを知らない、イマイチ気がのらないことでしょう。このガイドでは、「とりあえずこれだけ知っておけばOK!」というような、新書の基本事項をまとめています。新書は万能ではありませんが、上手に活用できれば、みなさんの学びの味方になるはずですよ。

1: 新書は、こんな本です

ポイント①

←約11cm→



しんしょばん
新書判サイズ

ポイント②



入門的な内容

スマホよりは大きいけど、持ち運びやすいです。そして、各分野の基本知識がコンパクトに収まっています。



「新書」とは、新書判の本のことです。「新書判」は本のサイズの一種で、縦約 17cm・横約 11cm です。大きさに厳密な決まりはありません。そのため、新書のレーベルごとにサイズが少し違います。

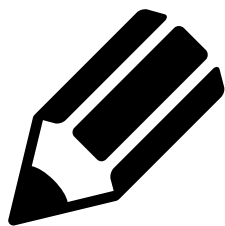
なお、広い意味でとらえると「新書判の本はすべて新書」なのですが、一般的に「新書」という場合は、教養書や実用書を含めたノンフィクションのものを指し、新書判の小説は、「ノベルズ」と

よんで区別します。このガイドでも、ノンフィクションの新書を対象に説明していきます。

また、サイズ以外で知っておいてほしいのは、新書は専門書に比べて入門的な内容だということです。そのため、ある分野について学びたいときに、「ネット記事の次に読む」くらいのポジションとして、うってつけです。次のページで、もう少し詳しくお話しします。

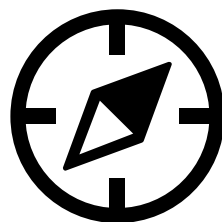
2: なぜ新書を読もうと言われるの?

ポイント①



自分で学ぶ力

ポイント②



進路対策

進路に関わる場面も含めて、これからの人生において、自分で学んでいく力を身に付けてほしいのです。



「自分で学ぶ力」を身につける上で、新書は手がかりの1つになります

学校で学ぶ各教科は、授業の時間が確保されていて、教える先生がいます。そして、たいていはその教科用の教科書や参考書、先生が準備したプリントのような、学習材料が用意されているので、「何を使って学びを始めるか」という部分に限っていえば、それほど悩まなくて済みます。

しかし、学校を卒業した後何かを学びたいときや、在学中でも授業で直接扱わないピックや分野について学びたいときには、「何を使って学びを始めるか」という部分から自分で考え、学びを組み立てないといけない場面も出てきます。

現代であれば、多くの人はずっとSNSを含めたインターネットで軽く検索してみることでしょう。よほどマイナーな内容でない限り、ニュースやブログの記事など、何かしらの情報は手に入ります。その情報が質・量ともに十分なのであれば、そこでストップしても、特に問題はありません。

しかし、もしそれらの情報では物足りない場合は、次のステージとして新書を手がかりにするのは、理にかなっています。内容が難しすぎず、その上で、一定のまとまった知識を得られるからです。

ネット記事が、あるピックや分野への「扉」だと

すると、新書は「玄関ホール」にあたります。建物の中の雰囲気や、ざっとつかむことができるイメージです。つまり、そのピックや分野ではどんな内容を扱っているのか、どんなことが課題になっているのか、という基本知識を、おおまかに把握することができます。新書で土台固めをしたら、さらなるレベルアップを目指し、専門書や論文を読むなどして、建物の奥や上の階に進んでみてください。

入試を含めた、進路対策としての意味合いもあります

それから、新書を読んでもらうことで、進路対策をする、という意味合いもあります。

具体的には、大学や専門学校など進学に際する学部・学科選び、就職に際する業種・職種選び、あるいは、入試や就職試験での小論文・作文問題などのための、基礎力を育むことが目的です。

学部・学科選びと業種・職種選びの両方において、できるだけ自分に合った選択をするためには、ある分野や職業に関する基本知識が必要です。また、小論文・作文問題では、読解力や、論理的な文章の構成力が必要です。知識を得る、ある程度長い文章を読み解く、論理的な文章構成のお手本とする。新書は、そういう点でも活用できます。



ちょっと
補足

新書は万能ではありません ほかのアイテムとの組み合わせが必要です

ここまでの説明を読んで、「何かを学ぶときには、新書から入らないとダメなの?」と思った人がいるかもしれません。結論をいうと、新書じゃなくても OK です。むしろ、新書だけにこだわるのは、選択肢や視野を狭め、かえってマイナスになる可能性があります。

新書は、「学びの玄関ホール」として心強い味方ですが、万能ではありません。たとえば、様々な出版社が新書のレーベルを持っており、毎月のようにバラエティ豊かなラインナップが出ていますが、それでも、「自分が学びたい内容をちょうどよく扱った新書がない」という場合があります。そのため、新書はあくまでも、

入門的な学習材料の1つであり、ほかのアイテムとの組み合わせが必要です。

ほかのアイテムの例としては、新書ではない本の中にも、初学者向けにやさしい説明で書かれたものがあります。マンガでも構いません。それから、本以外だと「MOOCS」(ムークス)のような、オンライン学習教材などがあります。MOOCSというのは、日本語で「大規模公開オンライン講座」といい、「JMOOC」のように無料で利用できるものもあります。このほか、たとえば専門家の講演やワークショップに参加したり、専門機関にメールで問い合わせたりするのも、「学びの玄関ホール」になりえます。

3: 新書選びで大切なこと

ポイント①



興味を持てる

読書というのは、本を選ぶところから始まります。新書についても同様です。これは重要なので、強調しておきます。もちろん、使える時間が限られている以上、すべての本をチェックするわけにはいきませんが、それでも最低限、次の2つの点をクリアする本を選んでください。

ポイント②



内容がわかる

1 つめは、興味を持てることです。趣味、部活動、志望分野など、何でもOK! ほかには、学校生活、人間関係、人生など、自分事として捉えやすいテーマの本もいいですね。2 つめは、内容がわかることです。難しい用語や概念がたくさん出てきてスムーズに読めない本は、おすすめしません。

新書に限らず、読書は本選びも重要です。興味を持たない、あるいは難しすぎてわからない本を読むのは、誰だってキツイですから。



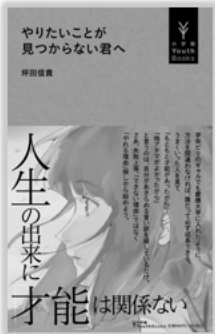


たとえば、こんな新書があります

ここまで新書について色々説明してきましたが、実際にどんな新書があるのかわからないと、イメージを持ちづらいですね。というわけで、読みやすそうなものを中心に、いくつかピックアップしてみました。

身近なテーマ

人生




やりたいことが
見つからない君へ

坪田信貴

やりたいことが
見つからない君へ

人間関係




「空気」を読んでも
従わない

鴻上尚史

「空気」を読んでも
従わない

部活動




「ハッピーな部活」
の作り方

中澤篤史、内田良

「ハッピーな部活」
の作り方

色々な学問分野

文学




英米文学者と読む
「約束のネバーランド」

戸田慧

英米文学者と読む
「約束のネバーランド」

医療・福祉




QOLって何だろう

小林亜津子

QOLって何だろう

経済学




値段がわかれば
社会がわかる

徳田賢二

値段がわかれば
社会がわかる

ニュースなどで見かける時事トピック

人工知能




AIの時代を生きる

美馬のゆり

AIの時代を生きる

ヤングケアラー




子ども介護者

濱島淑恵

子ども介護者

LGBT



はじめてのLGBT

遠藤まめた

はじめてのLGBT

- 4 -

4: いざ、新書探しの旅へ!

このガイドの最後に案内するのは、新書を探すときの方法です。世の中にはたくさん新書がありますので、それらの中から、ある程度絞り込まないと、選ぶのも大変です。インターネットを使った方法を中心に、主なものを紹介していきます。

また、学校図書館では生徒のみさんの調べ物のお手伝いをしており、そこにはもちろん新書探しも含みます。そのあたりの説明も少し書いてありますので、必要なときはいつでも司書に声をかけてください。

入門編: とりあえず、お手軽な方法から始めてみましょう



シンプルなネット検索

※ 「」は「1文字空ける」の意味です

新書「高校生」



新書「マーケティング」

この部分は、自分の興味があるキーワードに置き換えます



Googleなどの検索サイトでざっと調べるなら、「新書」+何かのキーワードで検索すれば、関係する新書を紹介したページが見つかることもあります。たとえば、「高校生」なら高校生向けの新書、「マーケティング」なら経営学のマーケティ

ング分野を扱った新書、という具合です。

ただし、この方法は手軽ですが「検索ノイズ」(=調べたいことと関係のない検索結果)も多く出てくる可能性がありますので、できれば、このあとに紹介する他の方法も試してみてください。



書店の売れ筋ランキング

※ 「」は「1文字空ける」の意味です

新書「ランキング」



同じくGoogleなどの検索サイトを使い、「新書」「ランキング」というキーワードで検索する方法があります。そうすると、検索結果の上位に、いくつかの書店における新書の売れ筋ランキングのページがヒットするはずですよ。

売れているからといって、中身が優れているとは限りませんし、そもそも興味のある内容の新書が含まれていないかもしれません。ですが、手間をかけずに「旬」な新書を調べることができるので、少しは参考になるとと思います。

発展編：自分に合う新書を探すために、ステップアップした方法にも挑戦！



中高生向け新書レーベル

※QR コードから、各レーベルの新書一覧ページにアクセスできます



**岩波
ジュニア新書**
(岩波書店)



**ちくま
プリマー新書**
(筑摩書房)



**小学館
YouthBooks**
(小学館)



このガイドの前半で「新書は入門的な内容」と書きましたが、実際のところ、新書の中でも難しさには差があります。運動慣れしていない人が、いきなりハードなトレーニングをしない方がよいと同じで、読書に苦手意識のある人は、まずはとっつきやすい新書から入るのがよいでしょう。

そんなときにおすすめなのが、中学生や高校生をメインの読者層にすえた新書レーベルの中から探す、という方法です。主なレーベルには、

「岩波ジュニア新書」、「ちくまプリマー新書」、「小学館 YouthBooks」の3つがあります。いずれも、一般的な新書よりもさらに平易な文章で書かれており、なおかつ、中学生や高校生くらいの若者が興味を持ちそうなテーマを中心に、ラインナップが組まれているのが特長です。

出版社の公式サイトで、各レーベルにどんな本があるのかを見ることができますので、ぜひチェックしてみてください。

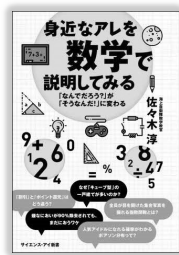


理数系新書レーベル

※QR コードから、各レーベルの新書一覧ページにアクセスできます



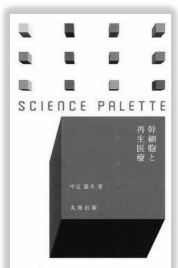
**ブルー
ボックス**
(講談社)



**サイエンス
・アイ新書**
(SBクリエイティブ)



**ニュートン
新書**
(ニュートンプレス)



**サイエンス
・パレット**
(丸善出版)



理科や数学や IT が好きですか？ そんなあなたに紹介したいのが、理数系新書レーベルです。主なものには、「ブルーボックス」、「サイエンス・アイ新書」、「ニュートン新書」、「サイエンス・パレット」の4つがあります。特定のジャンルを専門とした新書レーベルならではの、「濃い」ラインナップが見どころです。



小論文入試用の参考図書リスト

※QR コードから、各リストのページにアクセスできます



小論文を書くために
読んでおきたい本
(学研教育みらい)



小論文上達への道
参考図書
(第一学習社)



一部の教育系企業では、受験対策コンテンツの1つとして、小論文入試用の参考図書リストを作成しています。これらは、過去の入試で実際に課題文として取り上げられた本を中心に作られているため、小論文問題のある入試を受けようと考えている人には、特におすすめです。

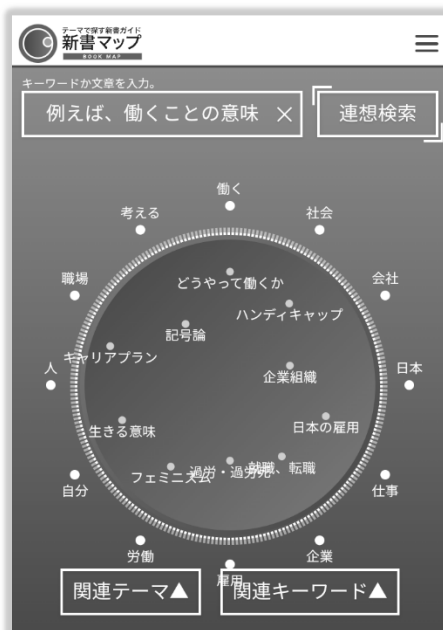
学研教育みらいと第一学習社によるリストは、インターネット上で公開されていて、誰でも見られます。

なお、これらのリストには新書以外の本も含まれていますが、新書の場合はレーベル名と一緒に書かれており、見分けることができます。



新書マップ テーマで探す新書ガイド

※QR コードから、「新書マップ」のトップページとヘルプにアクセスできます



新書マップ
(連想出版)



ヘルプ



新書の読書案内として随一の規模をほこるのが、NPO 法人連想出版が運営するサイト「新書マップ」です。

キーワードや文章を入力すると、それに関連する10個のテーマを、「新書マップ」のシステムが探し出します。そして、各テーマのページでは、テーマに関連した新書の一覧を見ることができるのです。

初めのうちは操作にとまどうかもしれませんが、サイトの画面が洗練されているので、何度か試すことですぐ慣れると思います。新書とのすてきな出会いを楽しんでください。

思うように探せませんか？ もしものときは、学校図書館へ！

みなさんが自分で新書探しをするためのヒントになる方法を、いくつか紹介しました。しかし、思うように探せないことも、当然あるはず。そんなときは、学校図書館のことを思い出してください。

学校図書館では、高校生向けの新書も色々そろえています。また、調べ物サポートの一環として、司書がみなさんの新書探しのお手伝いをしますので、もしものときは、お気軽にどうぞ！

付録：主な新書レーベルの一覧 ※並びはレーベル名 50 音順、カッコ内は出版社名

ICE 新書 (ICE)	講談社現代新書 (講談社)	中公新書 (中央公論新社)
朝日新書 (朝日新聞出版)	交通新聞社新書 (交通新聞社)	中公新書ラクレ (中央公論新社)
イースト新書 (イースト・プレス)	光文社新書 (光文社)	ディスカヴァー携書 (ディスカヴァー・トゥエンティワン)
イースト新書 Q (イースト・プレス)	サイエンス・アイ新書 (SB クリエイティブ)	日経プレミアシリーズ (日本経済新聞出版社)
岩波新書 (岩波書店)	サイエンス・パレット (丸善出版)	ニュートン新書 (ニュートンプレス)
岩波ジュニア新書 (岩波書店)	集英社新書 (集英社)	PHP 新書 (PHP 研究所)
インターナショナル新書 (集英社インターナショナル)	小学館新書 (小学館)	扶桑社新書 (扶桑社)
SB 新書 (SB クリエイティブ)	小学館 YouthBooks (小学館)	ブルーバックス (講談社)
NHK 出版新書 (NHK 出版)	祥伝社新書 (祥伝社)	文春新書 (文藝春秋)
MdN 新書 (エムディエヌコーポレーション)	新潮新書 (新潮社)	平凡社新書 (平凡社)
角川新書 (KADOKAWA)	星海社新書 (星海社)	ポプラ新書 (ポプラ社)
河出新書 (河出書房新社)	ちくま新書 (筑摩書房)	マイナビ新書 (マイナビ出版)
幻冬舎新書 (幻冬舎)	ちくまプリマー新書 (筑摩書房)	ヤマケイ新書 (山と溪谷社)

参考文献

- (1) 稲井達也・影山陽子・松崎史周 (2019) 『高校生・大学生のための読書の教科書』 学事出版
- (2) 小飼弾 (2010) 『新書がベスト』 ベストセラーズ
- (3) 齋藤孝 (2020) 『本には読む順番がある』 クロスメディア・パブリッシング
- (4) 鹿野政直 (2006) 『岩波新書の歴史』 岩波書店
- (5) 二通信子・門倉正美・佐藤広子 (編) (2012) 『日本語力をつける文章読本』 東京大学出版会

あとがき (このガイドを作ったきっかけ)

以前、Twitter で「新書がどんな本か知らない学生が多い」となげく、教育関係の方のつぶやきを見かけました。それが事実なら、問題があるのは学生側ではなく、新書という学びの基本アイテムについて説明しなかった学校、さらには、学校の図書館側なのではと、

個人的には考えています。そのため、読書サポートを役割の 1 つとする学校図書館として、「新書のきほん」が伝わるガイドを作りたい、と思ったのがきっかけでした。高校生を含め、新書という頼もしい本たちのことを知る人が少しでも増えてくれれば幸いです。(司書)

【掲載画像についての注記】 (1) 本の表紙画像は、「openBD」より取得しています、(2) 「新書マップ」のスクリーンショット画像は、運営者様より使用許可をいただいています、(3) アイコン画像は、自作もしくはパブリック・ドメインのものを使用しています